

群 教 セ	G02 - 03
	令5.284集
	社会 - 中

歴史的事象を様々な視点で捉え、 考えを深めることのできる生徒の育成 ——視点をもたせる発問と学び深まりシートの活用を通して——

特別研修員 須永 博紀

I 研究テーマ設定の理由

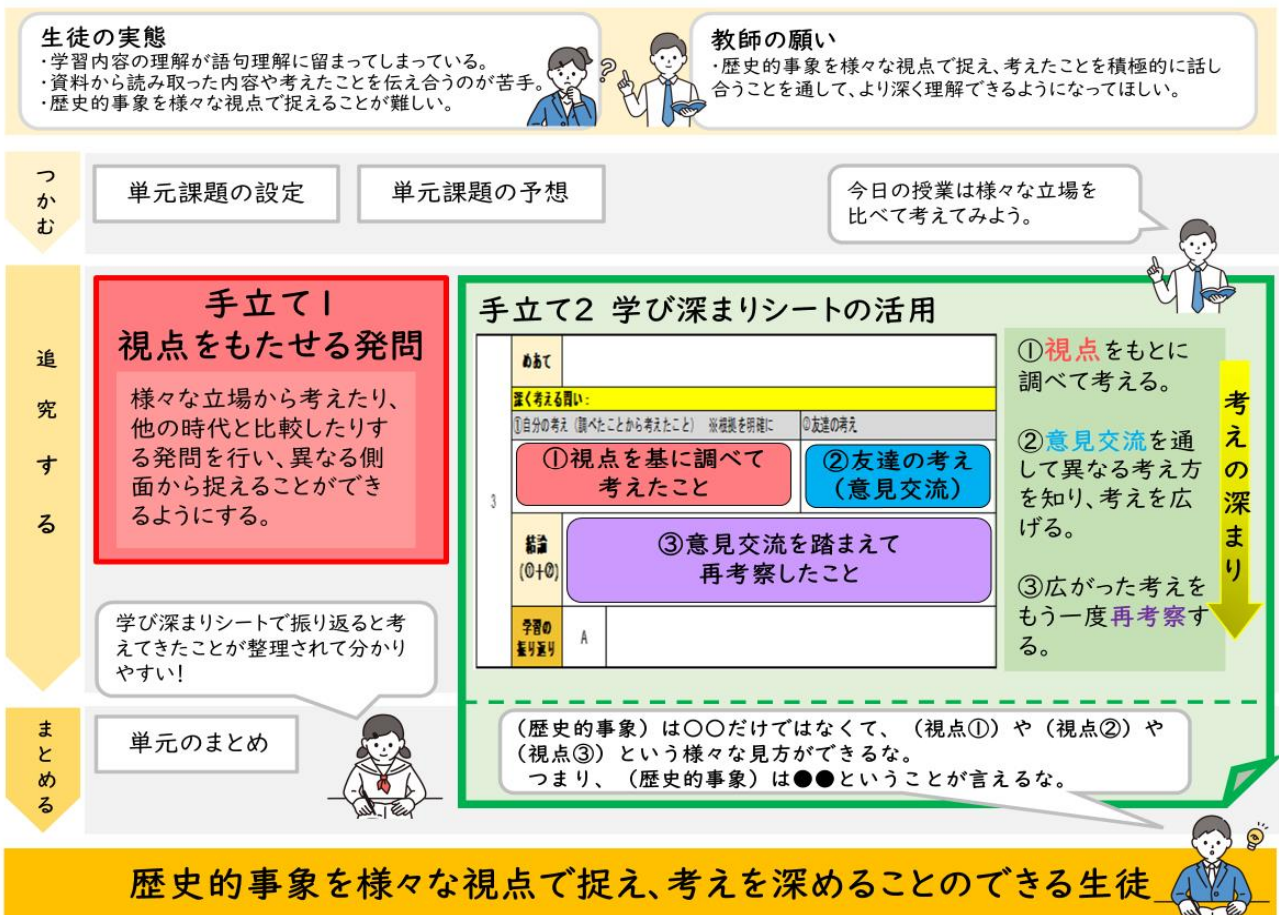
『平成29年告示中学校学習指導要領（平成29年告示）社会編』では、社会科の学習において、社会的な見方や考え方を養う必要性が挙げられており、そのために、様々な視点をもって課題を追究したり、解決したりする活動を取り入れた授業が重要であるとされている。

研究協力校では、社会科の授業に意欲的に取り組み、新しい知識の習得に励む生徒が多い。しかし、各自のノートや振り返りを見ると、学習した知識や語句がそのまま書かれ、その事象の原因や影響について説明したり、学習した内容を様々な視点で捉え直し、課題解決のために追究したりすることができる生徒が少ない。特に、歴史的分野の学習においてはその傾向が顕著である。

そこで、歴史的分野において、単元を通して学習した歴史的事象の価値を様々な視点から追究し、意見交流を行いながら考え方を広げたり深めたりする活動を設定することを考えた。このような活動を継続していくことで、表面的な語句理解に留まらず、見方や考え方を働かせて学習内容を広げたり深めたりしていくことができると考え、上記のとおり主題を設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



歴史的事象を様々な視点で捉え、考えを深めることのできる生徒

2 授業改善に向けた手立て

歴史的事象を様々な視点で捉え、考えを深めるための授業を展開することができるように、次のような手立てを用いた。

<p>手立て1 歴史的事象について様々な視点をもたせる発問を行う。</p> <p>手立て2 学習の過程で考えたことや意見交流をして分かったことを整理したり、比較したりしながら歴史的事象について考察する「学び深まりシート」を活用する。</p>
--

手立て1の視点をもたせる発問とは、生徒が歴史的な事象を知識として覚えるだけでなく、その事象の意義について考察できるよう、様々な視点を提示することである。立場を変えて社会の様子を捉えたり、違う時代に置き換えることで時代の流れを捉えたりすることで、生徒が、政治、経済、社会といった、異なる側面から見方や考え方を働かせて歴史的事象の意義を捉えることができるようにする。

手立て2の学び深まりシートとは、視点を基に考察した内容と、友達との意見交流によって分かった内容を整理、比較しながら考察するためのシートである。考えた内容は毎時間蓄積し、単元の学習課題を追究していくことで歴史的事象に対する見方や考え方を広げたり、深めたりできるようにする(図1)。シートの使い方としては、まず、学習前に単元課題に対する現時点での考え(予想)を記述する。さらに、一単位時間ごとに資料から分かったことを、視点を基にして考察し、「自分の考え」の欄に記述する。自分の考えを基に友達との意見交流を行い、分かった内容や新たに加わった視点を「友達の考え」の欄に記述する。そして、自分の考えと友達の考えを比べて考察し直し、自身の考えを再構成することを通して「結論」をまとめる。単元の最後には、蓄積された考察内容を基に単元のまとめを行い、単元課題に対する予想と比較してどのように考え方が変化したかを振り返りながら、学習をまとめることができるようにする。

単元名：

単元課題：		
予想：		
1~	めあて	
	深く考える問い：	
	①自分の考え(調べたことから考えたこと) ※根拠を明確に	②友達の考え
	結論(①+②)	
学習の振り返り	A	
単元まとめ：		

図1 学び深まりシート (Googleスプレッドシート)

Ⅲ 研究のまとめ

1 成果

- 視点をもたせる発問を単位時間ごとに行い、様々な立場や異なる時代との比較から考察を重ねたことで、単元課題の予想と比べて異なる側面から考察した内容を踏まえてまとめることができた。
- 学び深まりシートの活用によって、友達の意見を参考に自分の考えを広げたり、新たな気付きにつながる視点を得て、考えを深めたりすることができた。それらの学びの蓄積により、単元全体を通して断片的な知識ではなく、時代の流れを捉えた考察ができるようになった。

2 課題

- 学び深まりシートに入力する内容が多いため、授業時間内での入力の時間の確保が必要である。そのため、学習内容を精選したり読み取る資料の情報量を調整したりする必要がある。

実践例

1 単元名 「開国と幕府の終わり」 (第2学年・2学期)

2 本単元について

本単元では、幕府が欧米諸国のアジア進出に伴い、対外政策の転換を図り開国を行ったことで政治的、社会的な混乱を招き、諸藩が明治維新の動きを生み出していく様子を学習する。そして、幕府や諸藩の改革、人々の生活の様子、欧米諸国の動きなどの具体的な史実を基に調べ、複数の立場から、社会の変化と幕府の政治について多面的・多角的に考え、近世から近代にかけての転換期の時代を大観することがねらいである。

以上のような考えから、本単元では以下のような指導計画を構想し実践した。

目標	<p>(1) 資料を活用し、欧米諸国のアジア進出の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解することができる。(知識及び技能)</p> <p>(2) 幕府政治の変化について、様々な視点を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現することができる。(思考力、判断力、表現力)</p> <p>(3) 幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を自分事として捉え、主体的に追究することができる。(学びに向かう力、人間性等)</p>	
評価規準	<p>(1) 知識・技能 資料を活用し、欧米諸国のアジア進出の動き、日本の開国と貿易の開始による政治的、経済的、社会的な影響を理解している。</p> <p>(2) 思考・判断・表現 幕府政治の変化について、諸藩の改革や欧米諸国のアジアへの進出、人々の思想の変化など様々な視点を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>(3) 主体的に学習に取り組む態度 幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を自分事として捉え、主体的に追究している。</p>	
過程	時間	主な学習活動
つかむ	第1時	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府滅亡に関する資料を基に、江戸時代後半の社会の変化について、複数の資料から出てきた課題意識を基に、単元の課題を設定し、予想を立てる。 <p>[単元課題] 江戸幕府が滅んだ原因を考え、説明しよう。</p>
追究する	第2時 ～5時	<ul style="list-style-type: none"> アヘン戦争に関する資料を基に、日本の外国への態度の変化から幕府の外国との関わりがどのように変化したか考える。 諸藩の改革と幕府の改革の成果を比較し、それぞれの改革によって幕府と諸藩の関係がどのように変化したか考える。 ペリー来航による影響について、百姓、大名、商人など様々な立場から考え、話し合うことを通して、開国による日本の社会の変化について考える。 薩摩藩、長州藩それぞれの主張を比較し、共通点を話し合うことを通して、幕府がどのような動きの中で倒れていったのか考え、説明する。
まとめる	第6時	<ul style="list-style-type: none"> 学び深まりシートを参考に、学習してきた内容や様々な視点からの気づきを生かして学習のまとめを行い、幕府が滅びた原因を友達に説明する。

3 本時及び具体化した手立てについて

本時は全6時間計画の第4時に当たる。これまでの学習で「欧米諸国から見た日本」「日本から見た欧米諸国」「諸藩から見た幕府」「幕府から見た諸藩」など様々な視点を提示し、学び深まりシートを活用しながら、幕府と欧米諸国や諸藩の関係が変化し、国内からの幕府への信用が失われつつある状況を捉えてきた。本時は、ペリー来航による開国を通じた日本の変化について、幕府や武士、商人、百姓といった異なる立場から考え、話し合う活動を通して、様々な視点から開国の影響を捉え、日本の社会の変化を考える学習である。まず、ペリーが日本に来航し、幕府が交渉の末にアメリカなどの欧米諸国と不平等条約を結んでいく様子を資料から読み取った。次に、視点をもたせる発問（生徒に対しては、深く考える問いという言葉を使った。）として、「幕府の対応によって、国民たちはどのような影響を受けたのか」と聞き、「武士」「商人」「百姓」という三つの立場から一つの立場を選び、分かったことやそこから考えたことを挙げていった。そして、友達と意見交流を行い、自分の考えと友達の考えから発問の結論を導き出した。それぞれが考えた結論を発表し、全体で共有しながら、ペリー来航によって国民たちに及んだ影響と日本の変化について、生徒の意見を基に黒板に構造化してまとめていった。最後に生徒一人一人が自身の学習への取組を振り返った。

手立てについての具体的な内容は、次のとおりである。

手立て1 ペリー来航による影響を様々な立場で考えるための発問

ペリー来航による影響を様々な立場で調べることで、日本社会が混乱していく様子をより深く考えることができる。

手立て2 学び深まりシートを用いた意見交流及び意見をまとめる活動

手立て1の発問を受けて、調べた内容や考えた内容を入力する。そこで考えたことを基にして友達と意見交流を行うことでより考えを広げることができる。そして、意見交流を受けて広げた考えをもう一度まとめることで、ペリー来航によって日本がどのような社会になっていったのかをより深く考えることができる。

4 授業の実際

(1) ペリー来航の影響について、幕府とは異なる立場の人々の様子から考える場面

「幕府の対応によって、国民はどのような影響を受けたのか」と発問し、「武士」「百姓」「商人」といったそれぞれの立場への影響を視点として与えた。そして、様々な立場の中から自分が調べる立場を決め、事前に用意した資料に加え、教科書や資料集などを用いながら調べ、学び深まりシートに考えたことを入力した（図2）。読み取った内容を学び深まりシートに入力する際には、調べた立場と根拠を明確にししながら入力するよう留意させた。

以下は生徒がそれぞれの立場で調べまとめた内容である。

- ・天皇を指示する尊王論と、外国人を追い払う攘夷論が合わさり尊王攘夷が生まれた。（武士）
- ・安いものがたくさん輸入されたり、生糸や茶が盛んに輸出されたりしたことで品不足になり、値上がりしたことで生活が苦しくなった。（百姓）
- ・金が流出したことで経済が混乱し、商売や生活が苦しくなり不満が溜まっていった。（商人）
- ・江戸商人や茶の商人たちは時代の流れをいち早く捉え、貿易をして大きな利益を得た。（商人）

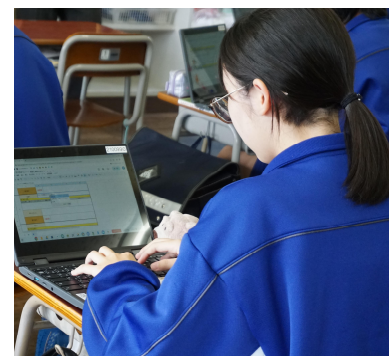


図2 学び深まりシートに入力する様子

(2) 調べたことを基に意見交流を行い、考えを再構成する場面

自分と友達が調べて考えた内容を見比べ、整理することができるように意見交流を行った(図3)。意見交流を行う際には、テレビ画面に生徒一人一人の調べた立場を一覧で表示し、交流活動の活性化を図った。また、聞き取った友達の意見は、学び深まりシートの「友達の考え」欄に入力させることで、新しく獲得した視点や考え方が明確になるようにした。交流活動では、自分と異なる立場を調べた人のところに自由に移動し、様々な立場の意見を聞くことができていた。また、同じ立場を調べた人から話を聞くことで、自分が調



図3 意見交流活動の様子

べたことを更に掘り下げることができた生徒もいた。意見交流後は、「ペリー来航によって日本はどう変わったか」という本時の学習課題について再考察を行った。

百姓について調べていた生徒Aは、武士について調べた生徒の尊王攘夷運動の話聞き、百姓の一揆や武士の尊王攘夷運動によって国内が混乱していることを改めて考察する様子が見られた。また、商人について調べていた生徒Bは、自分と同様に商人について調べた生徒との意見交流を経て、同じ商人でも商売方法によっては成功した商人がいたことに気付き、商人の中にも格差が広がっており、不満が募っていたことを考察する様子が見られた。これらの意見交流と再考察により、ペリー来航という歴史的な事象が、当時の日本社会に与えた影響を様々な側面から捉えることができた。以下は意見交流を経て再考察した生徒の記述内容である。

- ・百姓たちの中では、貿易が盛んになり輸出が増えたことで品不足になり生活が苦しくなった。それらのことがきっかけとなって不満が爆発し一揆が発生した。また、それにより経済の混乱も起きた。武士たちの中では外国との貿易を反対する姿勢から尊王攘夷の考え方が広まり、倒幕運動が起きた。つまり、様々な立場の人が、生活が苦しくなったり不満をもったりしたことで、世の中は混乱した。

5 考察

単元のまとめでは、単元課題である江戸幕府の滅んだ原因を考える活動を行った。その際には、学び深まりシートからこれまでの学習を振り返り、各単位時間で与えられた様々な視点を基に考察する姿が見られた。記述の内容を見ると、単元課題の予想と比べて、一連の歴史的な事象を関連付けて政治や経済などの異なる側面から考察している様子が見られた。これは、歴史的な事象を、単元を通して様々な視点で追究し、意見交流をしながら異なる考え方に触れてきたことで、生徒の考えの幅が広がり、様々な視点から結論を導き出したり、歴史的な事象の価値をより深く考えたりすることができたためであると考えられる。このような活動や経験を複数の単元で積み重ねていくことで、歴史的な事象を様々な視点で捉え、考えを深めることのできる生徒に近づくことが期待できる。また、各単位時間の学びを、学び深まりシートに記録し単元のまとめを行っていったことで、学習した語句や内容を記憶するだけの断片的な知識にとどまらず、単元の学習の流れを捉え、学習した時代の社会の変容を捉えることにつながったと考えられる。さらには、学び深まりシートの活用や意見交流を通して、自分の考えを積極的に伝えたり聞いたりする態度が見られるようになったことから、主体的に学習に取り組む意欲にもつながったと考えられる。

一方で、学び深まりシートへの入力に大幅な時間を割いてしまうことから、振り返りまで授業時間内で入力することを考えると、単位時間の配分が課題である。単元全体を通してこのような活動を行っていくことが負担とならないように、学習内容を精選したり、学習場面に応じて学び深まりシートの使い方を工夫したりする必要がある。

6 資料

本研究で用いた学び深まりシートの記入例

単元名：開国と幕府の終わり

単元課題：江戸幕府が滅んだ原因を考え、説明しよう。

予想：幕府の政治の方針と国民の思いに食い違いがあったから。

めあて		世界情勢の変化は、日本にどのような影響があったのだろうか。	
深く考える問い：アヘン戦争の結果を、日本はどう感じていたのか？			
1	①自分の考え（調べたことから考えたこと） ※根拠を明確に	②友達の考え	
	戦争が起こる前までは外国に対して強気だったが、イギリスが清を倒したことによってこのままだと日本も同じ目に合うのではないかと恐れ、外国船に対して低姿勢の法律を作った。		<ul style="list-style-type: none"> ・警戒している。 ・日本は危ないと思った。 ・清の二の舞になりたくないと思った。
	結論 (①+②)	日本は前までは強気だったが、イギリスが清を倒したことを知って外国を警戒するような姿勢が生まれた。→外国に対して低姿勢をとるようになった。	
学習の振り返り	B	自分から進んで意見を考えられてみんなに伝えることができた。	
めあて		ききんや財政の悪化に対して藩や幕府はどう対応したのか？	
深く考える問い：国民たちは幕府の改革をどう評価していたのか？			
2	①自分の考え（調べたことから考えたこと） ※根拠を明確に	②友達の考え	
	評価はあまりよくないと思う。商人や大名の意見を聞かずに無理やり改革を進めたことで国民たちからは幕府に対する不信感や怒りを覚えていた。		<ul style="list-style-type: none"> ・藩の政治の方がよいと考えていた。
	結論 (①+②)	前までは自由に商売ができた商人の自由や大名の土地を勝手に奪われて国民たちは幕府に対して強い怒りと不満を覚えた。百姓たちはお金を稼ぐために都市部に来ていたのに幕府が勝手に帰れと言ったり贅沢禁止と言ったり生活がしにくくなった。国民の願いに沿ってしようとした改革が逆にマイナスになった。	
学習の振り返り	A	国民と幕府の意見の食い違いの影響がよく分かった。意見交流もよくできた。	
めあて		ペリーの来航によって、日本はどう変わったのだろうか。	
深く考える問い：幕府の対応は国民たちにどのような影響（行動）を与えていたのか？			
3	①自分の考え（調べたことから考えたこと） ※根拠を明確に	②友達の考え	
	百姓たちは、港が開かれたことで海外からの様々な文化が広まり生活がだんだん洋風になっていった。また、貿易港が開かれたことによって日本の輸出が盛んになったため品不足に陥り、生活必需品が値上がりして生活が苦しくなった。		<ul style="list-style-type: none"> ・品不足になり値上げなどが起きた。 ・幕府に対する不満が高まり一揆が起きた。 ・日本と海外の金の交換比率が異なり経済の混乱を招いた。
	結論 (①+②)	百姓たちの間では、貿易が盛んになり輸出が増えたことで品不足になり生活が苦しくなった。それらのことがきっかけとなり不満が爆発し一揆が発生した。また経済の混乱も起きた。一部の商人たちは商売に成功した。武士たちの間では外国との貿易の反対から尊王攘夷の考え方が広まり、倒幕運動が起きた。世の中は混乱した。	
学習の振り返り	A	日本が条約を結んだことでどのように世の中が変化していったのかがよく分かった。友達との意見交流もよくできたからよかった。	
めあて		江戸幕府はどのようにして倒れたのだろうか。	
深く考える問い：長州藩と薩摩藩が倒幕で協力できたのはなぜか？			
4	①自分の考え（調べたことから考えたこと） ※根拠を明確に	②友達の考え	
	長州藩は下関で外国を追い出そうとしたが、外国に負けてしまった。薩摩藩も生麦事件によって外国の強さを知り、恐怖を覚えた。両者とも外国に敗北し、同じ経験をしたことが同盟につながった。		<ul style="list-style-type: none"> ・攘夷側の長州藩と、幕府側の薩摩藩が協力できたのは、外国に負けない国にしたいという意見が一致したから。
	結論 (①+②)	長州藩と薩摩藩は外国に戦争で負けるという同じような経験をして、共に外国に負けない国を目指して坂本龍馬の仲介もあって協力し始めた。そこで生まれた新政府と幕府との対決が始まり、最終的には新政府が勝利し、江戸幕府は滅亡した。	
学習の振り返り	A	幕府側と新政府側の思惑を考えながら勉強できておもしろかった。戦争とか人物とかがたくさん出てきているので出来事やその人物が行ったことなどと結び付けながら頑張っていた。	
単元まとめ：天保の改革の失敗で財政の悪化などを引き起こし、農民の幕府に対する不満が生まれるようになった。さらに、幕府の外交姿勢に反対した武士たちの不満が爆発し、倒幕運動が起こった。それらが大きな原因と考えた。つまり幕府が国民の願いにうまく応えられなかったため、力をもっていた武士がその不満を武力で表したことで幕府は滅んだ。			

本報告書に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

各社の商標又は登録商標

Googleスプレッドシートは、Google LLC の商標又は登録商標です。

なお、本文中には、TMマーク、[®]マークは明記していません。